

海外安全対策情報 平成25年度第3四半期

1. 社会・治安情勢

期間中、大きなデモや抗議活動等は見受けられず、治安情勢に目立った変化は見られなかった。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生している。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

(1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 10月6日夜、イシククリ州カラコル市郊外にて、2人のキルギス人男性が銃で撃たれて死亡しているのが発見された。なお、犯人は未だ検挙されていない。

イ 11月9日夜、オシュ市のオシュ国際空港駐車場にて、車に乗っていたキルギス人男性が4名のキルギス人男性に銃で襲撃され、積載していた現金400万ドル入りの鞆を強奪された。なお、犯人は検挙されている。

ウ 11月13日、ビシュケク市内において制服を着た偽警察官のキルギス人男性2名が車を停車させ、積載していた現金40万キルギスソム（約80万円）を奪った。なお、犯人は検挙されている。

エ 11月13日夜、ビシュケク市内において、切創痕のあるキルギス人男性1名が自宅で死亡しているのが発見された。警察は殺人事件と断定し捜査しているが、未だ犯人は検挙されていない。

(2) 邦人被害

ア けん銃様のものを使用した強盗事件

10月18日午後11時30分ころ、ビシュケク市8番団地（市内南方）に所在する日本人旅行者がよく利用する宿泊所前路上において、外出先から帰宅してきた日本人男性1名が、ロシア語を話す3人組の男にけん銃のようなものを突きつけられ、現金やデジタルカメラを奪われた。

イ 窃盗（スリ）

11月1日午後4時ころ、ビシュケク市のオシュバザール内において、日本人旅行者の女性1名が散策中に、所持していた鞆のチャックを開けられ、中に入れていたデジタルカメラ等を盗まれた。

3. テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ事件

認知していない。

(2) 爆弾事件

認知していない。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

認知していない。

5. 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。